

学校教育目標

かがやけ はばたけ こまばっ子 学びのその先へ

めあてをもつ

自分のめあてをもち ねばり強く取り組み振り返る

考えをもつ

自分の考えをもち 相手の考えを理解し伝え合う

よさに気付く

自分のよさに気付く 相手のよさをみとめ学びに生かす

一歩前へ<重点>

駒場だより

花に託す願い ～「よさ」の種を未来へ～

校長 石川 朋実

深まりゆく秋、校舎の児童玄関前では、先日、深駒町会・湯浜町会、そして PTA の皆様にご協力いただき6年生が植えたパンジーの花が、寒空の中、鮮やかな彩りを見せてくれています。この可憐な花々に、子どもたちの未来への願いを重ねています。

さて、この10月は、子どもたちの「かがやき」が満開となった月でもありました。

9日(水)の学習発表会 児童公開日では、学年を超えた交流が行われました。発表を鑑賞した子どもたちが、その「よさ」に気づき、発表者へ温かいメッセージを書き記しました。例えば、

1年生へ：「大きな声で恥ずかしがらずに歌を歌ってよかったです。笑顔でセリフがハキハキ言えて、すごいなって思いました」(2年生より)

3年生へ：「わたしが3年生の時よりもすごい迫力がありました!!」「楽器などが多くて、3年生なのに歌も楽器もうまくてビックリしました」(4年生より)

6年生へ：「歌がじょうずで最高でした。(中略)自分たちも来年6年生になって自分たちで内容を決めるから6年生を見習って頑張りたいと思いました。」(5年生より)



このように、異学年の「よさ」に気づき、認め合う経験は、子どもたちにとって大きな学びとなりました。11日(土)には、保護者や地域の皆様に向けてお披露目いたしました。これまで学習したことを基に、子どもたちが自ら内容を考え、シナリオや小道具を創り上げた発表は、「こまばっ子のかがやき」として皆様に伝わったものと確信しております。

そして、17日(金)の函館市一斉防犯パトロールでご来校いただいた町会連合会長 江頭 進様をはじめ地域の皆様から、「学習発表会は大変素晴らしかった」「先生方の熱意や指導力にも感心した」と、お褒めの言葉を頂戴いたしました。この温かい励ましは、教職員一同にとって何物にも代えがたい喜びです。重ねて感謝申し上げます。

私たちは、こうした活動を通して、子どもたちの「かがやき」の種が、実は何気ない毎日の積み重ねの中にあるという考えを深めています。私たちの教育の根幹は、「よさに気付く～一歩前へ」という視点です。結果のみに目を奪われることなく、その取組の「過程」、つまり子どもが見せた工夫や努力という「よさ」を正しく評価し、自信を一つ、ふたつと丁寧に積み上げていくこと。これが、『自己肯定感』という揺るぎない根を張らせる鍵だと考えます。

秋植えのパンジーが、冬の寒さに耐え、来春には再び美しい花を咲かせるように、「こまばっ子」一人ひとりの自信という根をしっかりと張らせ、自立し、6年生の発表した「2040年」の社会で活躍できる大人へと力強く「はばたく」未来を、教職員一同、地域・保護者の皆様と共に支えてまいります。

今後とも、本校への温かいご支援を心よりお願い申し上げます。